

## 企画展示

# 紀伊半島の地形・地質と斜面災害

紀伊半島の地質はおおまかに、①付加体（海溝で形成された複雑な地層）、②前弧海盆堆積体（陸棚斜面の盆地で砂や泥が整然と積み重なった地層）、③火成岩体（マグマが冷え固まってできたもの）の3つに分けられます。

平成23年9月、台風12号が四国・中国地方をゆっくりと北上したため、紀伊半島では長時間にわたって雨が降り続けました。その結果、広範囲にわたって河川の氾濫や山地の斜面崩壊が発生したのですが、①～③の地質の違いや地形によって災害の発生メカニズムが異なることが最近の調査で明らかになってきました。

今回の展示では、それぞれの地質ごとの災害の発生メカニズムについて解説しながら、平成23年の斜面災害について紹介します。

- 1 展示期間 平成27年9月1日～平成27年9月30日
- 2 展示場所 自然博物館第2展示室 話題のコーナー
- 3 展示物 岩石標本 3点、災害現場の写真など展示パネル
- 4 協力機関 和歌山大学防災研究教育センター



土石流災害現場（那智勝浦町）



大規模斜面崩壊（田辺市）

〒642-0001  
和歌山県海南市船尾370番地の1



**和歌山県立自然博物館**

URL <http://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp>  
✉ [postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp](mailto:postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp)

TEL 073-483-1777